

総合的な学習の時間 「福祉」

横須賀市立公郷小学校



単元（題材）目標

○耳の不自由な方の生活の困難さを知るとともに、コミュニケーションをとるための手だてとしての手話について学ぶ。

（１）実施時期

11月上旬

（２）対象（学年等・人数）

第4学年 97名、担任6名（含む支援級担任3名）

（３）指導者（教諭・外部講師等）

横須賀市聴覚障害協会と横須賀手話指導勉強会より2組（4名）

（４）実施内容

○2校時と3校時にクラス単位で実施（2校時目は、2クラス各2名の講師）

○健常者の方と聴覚障がいの方が一緒に教室に入り、どちらの方が聴覚障がいの方かわかるだろうかという質問を児童にする。また、聴覚障がいの方の困っていることなどについて、児童の質問に答えていただく形で学習が行われた。

- ・「音」や「声」を知らせる道具の話。
- ・手の言葉・・・身振り・口話・手話・筆談・空書・指文字などのコミュニケーションをとるための手立ての話。

○プリントを使用し、あいさつの手話を学んだ。

（５）成果〈生徒の感想などから〉

○聴覚障がいの方が、日常生活をより快適に過ごすための工夫について知ることができた。

○手話に興味を持ち、本やインターネットなどでも調べ、より詳しく知ることができた。

○調べた内容を生かして、児童会のお祭りの出し物にも活用した。

○学年全体として、二分の一成人式や6年生のお別れ集会でも手話を取り入れて発表をした。

（６）その他

○何度か教えていただく計画にすれば、もっと身につく学習になったと思う。